

はしかみかわら版 第10号 (平成25年5月)

会員の皆様こんにちは
今年も就学旅行の季節がやってきました。
2年前道仏中学校の修学旅行生が、横浜赤レンガ館での物産販売をされ、「ふるさとはしかみ会」からも応援に駆けつけました。
今年5月14日は、道仏中学校修学旅行生及び教職員(48名)が、開校以来初めて、**企業訪問を計画され、大先輩に当たる濱谷事務局長の勤務するミロク情報サービス(東証一部・主に会計ソフトを販売)の東京支社シヨールーム(新宿センタービル48階)を訪問し、企業における業務や仕事の内容について学ばれました。**また、在京の階上出身者5名の方々の意見交換も活発にされました。
当会のメンバーでもある5名は、地方公務員、上場会社の役員、経営幹部、鉄道会社勤務と職業も多岐に渡り、故郷を離れ東京でも活躍する先輩達と実際に出会ってみたい、いろいろと感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。東日本大震災から2年過ぎましたが、とてもあの出来事に出会ったとは思えないような、彼らの生き生きとした表情は、こちらが励まされる様な出会いでした。
田村校長は町おこしに、強い関心をお持ちで今後町の発展のために寄与されること期待しております。田村校長からは力作の十和田湖の絵画をいただき、有難うございました。
三陸復興公園に指定され、歩く、船に乗る、列車に乗る、味わう、泊まるなどをいろいろと町では計画されていると思いますが、当会も機会をとらえてはPR活動して町が注目を浴びるような活動に会を上げて微力を尽くす所存です。
(内城会長記)



花見会 (4月7日) の報告

今年の花見会も4月7日無事終了いたしました！今年が開花が二週間ほど早く、又当日は雨・強風予報の事もあり、花も葉も見れなくても止む無しと判断し、会場変更をし、「鼻見会」とさせて頂きました。
それでも、当日は強風の影響で一部路線で運転見合わせもあり、大勢の落伍者を覚悟しておりました。にも拘らず、事前に連絡を頂いた方々、30名ほどにご参加頂きました。会場は当会の例会でお馴染み、門前仲町の京風創作料理「町家・遊膳」を特別にお借りしました。(オーナーのご好意に感謝しお礼申し上げます。)川向店長・斉藤マネージャー、何時もの事ですがご協力感謝申し上げます。今回は昨年の反省を踏まえ、揚げ物のオードブルは要らない、美味しいせんべい汁が食

べたいとの要望に答え、お年寄りに優しいお弁当、青森産のシヤモロックを出汁にした「高級せんべい汁」を用意頂き、また階上町わっせ交流センターから取り寄せた懐かしいの、豆しつとぎ、よもぎ餅などを美味しく頂き、最後にはジャンケン大会でいちご煮缶詰や郷土品をお持ち帰り頂きました。
震災の三週間後(4月2日)に世間が自粛一色の時に、「桜の花は一年に一回しか咲かない」東京から元気に復興支援しよう！と始めた花見会、何があっても続ける事が絆です。来年は鼻見ではなく花を愛でる会にしましょう。(平戸理事記)

(株)セントラル 平成25年度新入社員の安全衛生教育を終えて

内城会長が経営される(株)セントラルの平成25年度新入社員に対して、先日、当会メンバー阿部氏(元エンジニアリング)による安全衛生教育が実施された。
“安全衛生教育・安全衛生責任者教育”そして最近の重大事故・災害事例と原因・法令・事故災害を未然に防止する安全管理内容と演習等が3日間実施された。これは、当会メンバー内のノウハウの共有の一例として紹介します。また、阿部氏の持つノウハウである、建設現場で安全確保をするための教訓をご紹介します。
*安全の“A・B・C”/A:当り前のことをB:ボンヤリせずに C:ちゃんとやる
*茹がえる理論…かえるは熱湯に入れると飛出るが、水に入れて温め、熱いと気付いた時は遅い。*人の命は地球より重い…地球の重さ 5.972×10の24乗kg vs (米国ワシントン大学) 人命の重さの重さを解いていきます。

追記:元エンジニアリング社では安全衛生に関する各種業務(管理体制構築・教育・作業基準・講演等)と安全管理担当派遣等のお手伝いをしてます。



若い力で未来を拓く
株式会社 釜谷工務店
職人・見習い 募集中!
型枠・鉄筋・左官 工事業
株式会社 釜谷工務店
代表取締役 釜谷 久
TEL 0551-28-5487

プロのエンジニア集団
株式会社 セントラル
機電・情報システム・建設コンサルタント
株式会社 セントラル
代表取締役会長 内城美名生
TEL 03-3813-2601

お座敷ダイニング
町家・遊膳
門前中町駅 徒歩1分 03-3641-0028
宴会・忘年会はおまかせください
門前仲町 町家・遊膳
店長 川向善美
TEL 03-3641-0028

みどりフェスタ (4月29日)

初めて寄稿させていただきまます階上町産業振興課の大谷地と申します。

5月24日は、階上岳と階上海岸が「三陸復興国立公園」となります。それに伴い環境省が主催する全国の国立公園や自然保護の「こ」を趣旨とした「みどりフェスタ」が新宿御苑で4月29日に開催されました。

階上町は初めての参加で、「道の駅はしかみ」が物販をしました。いちご煮、缶詰等お馴染みの商品のほかに、今回は階上早生そばのそば粉を使った「そばかりんとう」等も登場させました。これらの試食が功を奏したのでしょうか。お昼過ぎには全品完売でした。



そして、この日ははしかみキッズの一つで今回初上京したゆるキャラ「あぶらめ君」のパフォーマンスで人々とふれあひながら階上町を「こ」しました。

ふるさととはしかみ会の皆様には、首都圏でイベントが行われる度に「ご支援いただき、また今回も前日の準備から、当日の物販、大量のパンフレットの配布など、ゴールデンウィークの貴重なお時間を頂戴してのご支援、本当にありがとうございます。みどりフェスタを皮切りに、国立公園の「こ」は始まったばかりです。今後共皆様のご協力を賜りながら、事業を進めて参ります。よろしくお願いたします。

(階上町産業振興課 大谷地 記)

郷土料理の紹介コーナー (町家にて・)

アブラメの木の芽味噌焼

風薫る5月、階上の方でもアブラメの季節になって来たのではないのでしょうか。築地で1.5*ほどの活けのアブラメが入りました。煮付け、唐揚げ、焼霜造り、みそ汁など多彩な調理方法があるアブラメ。今回は皐月の香りを楽しむ木の芽味噌焼にしてみました。

①アブラメはうるこをとり、カマ下から包丁を入れて外します。内臓を筒抜きにし、水洗いします。

②身を筒切りにし切り口を上にしてバットに並べ、振り塩をして二十分ほど冷蔵庫で寝かせます。

③木の芽味噌を作ります。西京味噌と信州味噌各50g、卵の黄身一個分、木の芽適量。すり鉢に木の芽を入れすり潰し、味噌と卵黄を入れ煮切り味噌にて延ばしながら好みの味に仕上げます。

④振り塩したアブラメを焼き上げ、木の芽味噌を塗り、味噌に焼き目がつくまで炙ります。

⑤焼き上がったアブラメを器にもり、木の芽、酢取り生姜、花蓮根を添えます (町家遊膳厨房)



アブラメは淡白な魚ですから最初の振り塩はしっかりとします。味噌はあまり甘くないほうがいいでしょう。合わせる木の芽は多いほうが香りが立ちます。

お知らせ イベントコーナー

月日	東京 イベント
5 / 13 (月)	定例会・スタッフミーティング
5 / 21 (火)	第10号はしかみかわら版発行
5 / 26 (日)	第4回ゴルフコンペ(新千葉カントリークラブ)
6 / 10 (月)	定例会・スタッフミーティング(日)(いちご煮祭り会場下見)
6 / 30 (日)	第4回定期総会 & いちご煮祭り in 東京
7 / 12 (金)	定例会・スタッフミーティング
8 月中旬	定例会・スタッフミーティング
8 月中旬	第11号はしかみかわら版発行

発行日:平成25年5月22日
 発行人:内城美名生
 編集人:川向善美・濱谷博通・野沢敬貴
 連絡先:090-2572-6921
 Mail:hh2010@triton.ocn.ne.jp

編集後記:

4月の花見会、みどりフェスタ、5月の修学旅行生のふるさととはしかみ会の表敬訪問など、当会におけるイベントが目白押しとなりました。いろいろご参加頂きました方々には感謝申し上げます。さて、いよいよ6月30日に予定しております、ふるさととはしかみ会による、「いちご煮祭り in 東京 & 第4回定期総会」です。階上出身者のみならず、階上町にゆかりのある方や、階上町に興味のある方、お知り合いの方などどなたでもご参加頂けますので、お誘い合わせの上、ご参加下さい。次回夏号は、8月中旬予定

八戸⇄苫小牧間を1日4便運航

 シルバーフェリー
 0120-539-468 川崎近海汽船株式会社
 シルバーフェリー
 川崎近海汽船株式会社
 取締役 寅谷 剛
 TEL 0120-539-468

シニアエンジニアが活躍しています
 元気なシニアを募集中!

 PRIエンジニアリング株式会社
 エンジニア派遣・建設請負業
 PRIエンジニアリング株式会社
 代表取締役 宇賀神弘忠
 TEL 03-5646-9075

シフト・勤怠実績管理システム

 システム開発 & クラウドコンサル
 株式会社 ジーアイテック
 システム開発・クラウドコンサル
 株式会社 ジーアイテック
 代表取締役社長 青池 俊司
 TEL 0178-32-0213